

# ZOOっといっしょ

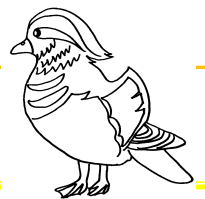
## こんげつ 今月のニュース!

### ・オシドリに新たな仲間が加わりました!!

2012年7月3日にふ卵器で温めていた卵からヒナが2羽ふ化しました。大きくなって他の鳥たちと一緒に暮らせるようになったので10月22日にフラミンゴ池へ仲間入りしました。2羽ともオスでくちばしは大人のオスと同じ赤色をしています。体はまだ少し小さく、羽の色もまだ地味です。若い2羽のこれからの成長を見守ってくださいね。

### ・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)活動がクモザル舎で行われました。

10月22日に県立桐生高校理数科1年生のみなさんがクモザル池で実習を行いました。当日は晴天に恵まれ、池の水の水質分析や炭素繊維の設置などみなさん一生懸命実習に取り組んでいました。詳しくはホームページの調査・研究に掲載しておりますのでご覧ください。



## 「こたろうポスト」から

先月号でご紹介した麒麟の『こたろう』が動物たちとみなさんをつなぐ郵便配達員になって、みなさんから届いた疑問、質問にお返事するコーナーです。

質問：動物園の飼育係になるにはどうすればいいですか？

お返事：動物園の飼育係になるには、動物のことを勉強しておくといいと思います。本を読んだりいろいろな動物を見たり。

でも、動物のことだけではなく、いろいろな知識があるととても役に立つので、学校で勉強することはどれもとても大切だと思います。

例えば、動物園の動物は外国に住んでいる種類もたくさんいますし、エサも海外から輸入しているものがたくさんあります。動物のエサは植物、昆虫、魚など多くのものを使います。英語の文章を読むには英語の勉強が必要ですし、社会や理科で勉強することも役に立つと思います。

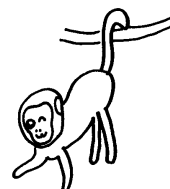
いろいろなデータをまとめるには算数、数学も必要です。

そして、もっと動物について知りたいと思ったら、大学や専門学校でより詳しく動物の勉強をしてみてもいいと思います。

みなさんも、知りたいことや不思議なおもったことなど気軽に質問してくださいね。質問箱はクモザル舎のガラスビュー観覧スペースに設置してあります。



☆赤ちゃんスクスク成長中☆



・5月29日に生まれたクモザルの赤ちゃんは元気に成長しています。最近はお母さんのユーコリンの側からはなれることもあり、おじいちゃんのクロちゃんやチャチャの体に乗ったりしています。キュッキュツとかわいい声で鳴いたりもしていますよ！

・8月18日に生まれたフラミンゴの赤ちゃんも大きくなりました！フワフワの羽がだんだん大人の羽に変わってきています。翼を広げるとピンク色の羽が見えることもありますよ！くちばしも赤ちゃんの時はまっすぐだったのが大人のように曲がってきました。

特集

第1回目の特集はミニブタです

ミニブタとは・・・

家畜のブタ（体重200～300kg）に比べて小さい品種のブタを総称して「ミニブタ」といいます。同じミニブタでも、成長したときの体重は30～100kgと大きく開きがあります。桐生が岡動物園で飼育しているポットベリーという品種は、平均約50kgになります。3歳ごろ大人になり、約15年生きます。

桐生が岡動物園のミニブタを紹介します。

コト（♂）平成24年2月から桐生が岡動物園に仲間入りしました。

性格はひとなつっこくて、おなかをなでられるのが好きです。

ブヨ（♀）平成19年4月から桐生が岡動物園に仲間入りしました。平成18年生まれです。

性格は食いしん坊で、お座り、お手、待て、おまわりができるおりこうさんです。

目：近視といわれています。

耳：人より高い音域の音を聞くことができ、音にはとても敏感です。

鼻：嗅覚がとても優れています。トリュフ探しや麻薬探知にも応用されています。

蹄（ひづめ）：肉球はなく蹄だけで歩いています。

1日の餌（1頭分）

リンゴ 1/2 個

みかん 2 個

小松菜 1/2 束

人参 1/2 本

白菜 400g

ミニブタペレット 200g

体高

30～50cm

しっぽ：家畜のブタのしっぽはくるっと巻いていますが、ミニブタはほとんどまっすぐ垂れ下がっています。うれしいときなどにしっぽを振ります。